

-
- ◆開催日時:平成 30 年1月 23 日(火) 13:56~14:18
 - ◆開催場所:第1委員会室
 - ◆出席委員:市長職務代理者 大原副市長、根末副市長、樋口教育長、藤原市長公室長
藤浪企画調整部長、大西総務部長
-

◆審議事項

- ・岸和田市スポーツ推進計画の策定について……………スポーツ振興課
⇒承認
-

◆審議概要

『岸和田市スポーツ推進計画の策定について』

〈説明者〉津田スポーツ振興課長、吉田スポーツ推進担当主幹、有留管理担当長、田淵担当員
〈他出席委員〉濱上生涯学習部長

- ◎付議依頼書に基づき説明
- ◎説明後、質疑応答

〈総務部長〉どういう視点で施策等を整理したのか。競技スポーツか否かという視点ではないようだが。
〈田淵担当員〉子どもから大人までがスポーツに親しむ環境をつくる、つまり生涯スポーツを推進するという視点で整理した。

〈総務部長〉本計画においてワールドマスターズはどう位置付けているのか。

〈管理担当長〉ワールドマスターズは『する』スポーツだけではなく、スポーツ団体等には、スポーツボランティアとして『ささえる』側としての活躍も期待している。競技を間近に見ることで、スポーツの魅力を感じてもらいたい。

〈総務部長〉ワールドマスターズが本市のスポーツ振興のきっかけになり、大会終了後もその影響が継続するように、多くの団体等が関わるような仕組みづくりを検討してもらいたい。

〈スポーツ推進担当主幹〉ワールドマスターズに限らず、スポーツ関係団体には『する』『みる』『ささえる』の全ての観点から、本市のスポーツ振興に関わってもらいたいと考えている。

〈企画調整部長〉計画本編の P.17 に、屋内施設について、『老朽化・耐震化の課題解決を図る』とあるが、公共施設最適化計画との整合は図っているのか。

〈スポーツ振興課長〉公共施設マネジメント課と協議したうえでの記述であるが、表現を再考する。

〈企画調整部長〉様々な取組が計画として盛り込まれているが、これらは全て市が実施主体者となるように読み取れる。また、指定管理者の自主事業として期待するような取組も含まれていると思われる。計画に記載した取組の実施主体がわかるような記載方法を検討されたい。例えば、市と関係団体等との協働により進めていくなれば、そういった主旨の文章を一文加えるだけでもよいと思う。

〈スポーツ振興課長〉適切な表記を検討する。

〈教 育 長〉『計画の推進体制』に書かれていることを、前半の章にも書けばよいのではないか。

〈総 務 部 長〉民間活力も活用し、取組を進めてもらいたい。

〈根 本 副 市 長〉本案件について、本日の指摘事項を修正するという条件付きで承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件について、指摘事項を修正するという条件付きで承認する。

平成 30 年 1 月 19 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市スポーツ推進計画策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 23 年 6 月施行の「スポーツ基本法第 10 条」に基づき策定するものであり、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多面的に捉え、「全世代の体力向上」を目的とした「岸和田市スポーツ推進計画」の策定についてご審議願うもの。
説明者	生涯学習部スポーツ振興課長 津田 伸一 生涯学習部スポーツ振興課スポーツ推進担当主幹 吉田 重成 生涯学習部スポーツ振興課担当員 田淵 健太
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成29年度 第9回会議
付議事項	岸和田市スポーツ推進計画の策定について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	「週1回以上、運動・スポーツを実施する市民の割合」を32.2%(2016年度)から65%(2027年度)まで引き上げる。

★総合計画上の位置付け

101010201	基本目標	I-1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)生涯にわたって能力を伸ばすことができる
	目指す成果	②スポーツを楽しむ市民が増えている
	行政の役割	ア スポーツ活動に参加できる機会や場を提供する

★現状と課題

運動・スポーツの実施率は全国平均(40.4%)と比べ約10%も低く特に40歳以下の働いている世代が運動・スポーツの実施率が低い傾向がみられる。また、小・中学生において全国体力・運動能力、運動習慣調査において全国平均を小学生では、平均を上回るものはあるが、中学生にいたっては平均を下回っている。高齢者においても今後、老年人口率が増加する事が見込まれる中、運動・スポーツのニーズが増えることが予想される。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H27年度	H28年度		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
岸和田市スポーツ推進計画の策定		592	3,117	0	0	0	0	0
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源		592	3,117	0	0	0	0
	その他							
事業費			計	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
					H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
① 週1回以上、運動・スポーツをする市民の割合	%		32.2						45
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。